



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **HPE Gen8、Gen9、Gen10 サーバーの HPE iLO の 標準機能およびライセンスが必要な機能**

### **摘要**

このガイドでは、HPE iLO ライセンスの購入に関する情報を提供します。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java<sup>®</sup>および Oracle<sup>®</sup>は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google<sup>™</sup>は、Google Inc.の商標です。

Google Chrome<sup>™</sup>は、Google Inc.の商標です。

Linux<sup>®</sup>は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat<sup>®</sup>は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

VMware<sup>®</sup>は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

<b>HPE iLO の標準機能およびライセンス機能 .....</b>	<b>4</b>
<b>標準およびライセンス機能の説明.....</b>	<b>9</b>
<b>Web サイト.....</b>	<b>15</b>
<b>ライセンス、SAID、およびソフトウェアアップデートのサポート .....</b>	<b>16</b>
HPE iLO ライセンスのサポート連絡先のアドレス.....	16
SAID と HPE パスポートアカウントのリンク.....	16
<b>サポートと他のリソース.....</b>	<b>17</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	17
アップデートへのアクセス.....	17
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	18
保証情報.....	18
規定に関する情報.....	18
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	19



# HPE iLO の標準機能およびライセンス機能

次の表に、各 iLO ライセンスで使用可能な機能に関する情報を示します。これらの機能について詳しくは、[標準およびライセンス機能の説明](#)を参照してください。

機能	iLO Standard	iLO Advanced <sup>1, 2, 3</sup>	iLO for ODIM
プラットフォームのサポート	iLO をサポートするすべてのサーバーで追加費用なしで搭載	ProLiant サーバー、Apollo サーバー、Synergy コンピュータモジュール、EL8000 シャーシに取り付けられた Edgeline サーバー、Edgeline シャーシで使用されている iLO を搭載した Moonshot カートリッジを含む、iLO を搭載したすべてのサーバー。	iLO 5 v2.10 以降を搭載したすべての Gen10 サーバー
Active Health System	X	X	X
アドバンスド電力管理（電力履歴グラフ、動的消費電力上限）		X	X
Agentless Management	X	X	X
自動 Secure リカバリ <sup>4</sup>		X	X
バックアップとリストア <sup>4</sup>	X	X	X
シャーシのパワーレギュレーターモード <sup>5</sup>		X	X
Commercial National Security Algorithm (CNSA) セキュリティ状態 <sup>4</sup>		X	X
コアブースト <sup>6</sup>		X	X
ディレクトリサービス認証		X	X
Discovery Service		X	X
Email ベースのアラート		X	X
内蔵リモートサポート	X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Advanced <sup>1, 2, 3</sup>	iLO for ODIM
プラットフォームのサポート	iLO をサポートするすべてのサーバーで追加費用なしで搭載	ProLiant サーバー、Apollo サーバー、Synergy コンピュータモジュール、EL8000 シャーシに取り付けられた Edgeline サーバー、Edgeline シャーシで使用されている iLO を搭載した Moonshot カートリッジを含む、iLO を搭載したすべてのサーバー。	iLO 5 v2.10 以降を搭載したすべての Gen10 サーバー
内蔵システムヘルス	X	X	X
ファームウェア検証 <sup>4</sup>		X	X
統合リモートコンソールによるグローバルチームコラボレーション		X	X
iLO plugin for ODIM による HPE ODIM Resource Aggregator のサポート			X
iLO 連携検出	X	X	X
iLO 連携管理		X	X
サーバーの UID ボタンを使用した iLO のリセット <sup>7</sup>	X	X	X
iLO RESTful API	X	X	X
iLO Web インターフェイス	X	X	X
統合リモートコンソール (IRC/仮想 KVM - テキストと GUI をサポート)	BL および WS を除くすべてのサーバーではプリ OS のみ。BL および WS サーバーでは標準提供	X	X
統合リモートコンソールの録画および再生		X	X
IPMI Over LAN/DCMI	X	X	X
IPv6	X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Advanced <sup>1, 2, 3</sup>	iLO for ODIM
プラットフォームのサポート	iLO をサポートするすべてのサーバーで追加費用なしで搭載	ProLiant サーバー、Apollo サーバー、Synergy コンピュートモジュール、EL8000 シャーシに取り付けられた Edgeline サーバー、Edgeline シャーシで使用されている iLO を搭載した Moonshot カートリッジを含む、iLO を搭載したすべてのサーバー。	iLO 5 v2.10 以降を搭載したすべての Gen10 サーバー
Jitter Smoothing <sup>4</sup>		X	X
Kerberos 認証		X	X
キーマネージャーのサポート		X	X
One-button セキュア消去		X	X
パフォーマンス監視		X	X
リモート Syslog		X	X
RIBCL	X	X	X
スクリプト方式/URL ベースの仮想メディア		X	X
セキュリティダッシュボード	X	X	X
サーバー構成ロック		X	X
サーバーヘルスマラリ <sup>7</sup>	X	X	X
サーバーシステムの復元 <sup>4</sup>		X	X
Silicon Root of Trust (シリコンレベルの信頼性) <sup>4</sup>	X	X	X
Smart アレイのセキュア暗号化		X	X
SSH コマンドラインインターフェイス	X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Advanced <sup>1, 2, 3</sup>	iLO for ODIM
プラットフォームのサポート	iLO をサポートするすべてのサーバーで追加費用なしで搭載	ProLiant サーバー、Apollo サーバー、Synergy コンピュートモジュール、EL8000 シャーシに取り付けられた Edgeline サーバー、Edgeline シャーシで使用されている iLO を搭載した Moonshot カートリッジを含む、iLO を搭載したすべてのサーバー。	iLO 5 v2.10 以降を搭載したすべての Gen10 サーバー
テキストベースのリモートコンソール (Textcons)		X	X
SSH 経由でのテキストベースのリモートコンソール <sup>8</sup>		X	X
Two-Factor 認証 (Kerberos、スマートカード - PIV/Common Access Card)		X	X
サービスアクセス設定の更新 <sup>4</sup>		X	X
リモートコンソール経由の仮想メディア	BL および WS サーバーのみ標準提供	X	X
仮想電源ボタン	X	X	X
仮想シリアルポート	X	X	X
仮想シリアルポートの録画および再生		X	X
Workload Matching プロファイル <sup>4</sup>	X	X	X
ワークロードアドバイザー		X	X
ゾーンマッピング、ゾーンの優先度		X	X

- 1 いくつかの iLO Advanced の機能は、以前は廃止された iLO Advanced Premium Security Edition ライセンスに付属していました。
- 2 iLO Advanced ライセンスは Synergy コンピュートモジュールに自動的に付属します。
- 3 iLO Advanced ライセンスは、2020 年 6 月 1 日以降に出荷される ProLiant e910 サーバーブレードに自動的に付属します。
- 4 Gen10 以降で利用可能です。
- 5 ユーザー構成可能モード設定を使用するにはライセンスが必要です。
- 6 Gen10 以降のサーバーでのみ使用できます。

- 7 Gen9 以降のサーバーで使用できます。
- 8 SSH 経由でのテキストベースのリモートコントロールは、レガシー BIOS ブートモードを使用するように構成されたサーバーでのみサポートされます。UEFI モードを使用するように構成されたサーバーではサポートされません。



# 標準およびライセンス機能の説明

以下のリストに、標準およびライセンスされた HPE iLO サーバーの機能を示します。

## Active Health System

Active Health System は、サーバーハードウェアとシステム構成の変化を監視し、記録します。1600 を超えるシステムパラメータを継続的に監視し、統合されたヘルスアラートとサービスアラートを受信できます。

対象：すべてのお客様

## Advanced Power Management

パワーレギュレーターがダイナミックセービングモードになっていた時間、消費電力、消費電力上限などの電力関連の機能を有効にします。

対象：企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

## Agentless Management

OS およびプロセッサから独立して、SNMP トラップと追加の OS データを監視して生成します。

対象：すべてのお客様

## 自動でのセキュアリカバリ

電源の作動時に iLO ファームウェアを検証します。ファームウェアが無効な場合、iLO ファームウェアは自動的にフラッシュされます (iLO Standard ライセンス)。また、サーバーの起動時に、システム ROM を検証します。有効なシステム ROM が検出されないと、サーバーは起動できません。リカバリオプションには、アクティブおよび冗長 ROM のスワッピングや、ファームウェアの検証スキャンとリカバリアクションの起動などがあります。

## バックアップとリストア

バックアップ元のシステムと同じハードウェア構成を持つシステムに iLO 構成をリストアできます。この機能は、構成を複製して別の iLO システムに適用するものではありません。

## シャーシのパワーレギュレーターモード

シャーシのパワーレギュレーションページのユーザー構成可能モード設定を使用するにはライセンスが必要です。このモードを構成すると、ユーザーは、事前定義された範囲から有効な消費電力上限値を指定できます。

## Commercial National Security Algorithm (CNSA) セキュリティ状態

CNSA セキュリティ状態 (SuiteB と呼ばれる) は、FIPS セキュリティ状態が有効になっている場合のみ使用できます。

このセキュリティ状態に設定されている場合、次のようになります。

- ・ iLO は、NSA によって定義された CNSA 要件への準拠を目的とするモードで動作します。
- ・ iLO は、米国政府機密として分類されたデータを保持するシステムの保護を目的とするモードで動作します。
- ・ SUM を使用して iLO にアクセスする場合は、iLO 認証情報が必要です。
- ・ TLS 1.2 をサポートしていないネットワークベースのツールを使用してサーバーに接続することはできません。
- ・ システムメンテナンススイッチの iLO セキュリティ設定 (iLO セキュリティオーバーライドスイッチと呼ばれる) は、iLO へのログインに関するパスワード要件を無効にしません。

## コアブースト

コアブーストは選択されたインテルプロセッサを使用して、複数のプロセッサコアのパフォーマンスを向上させることができます。この機能は、Gen10 サーバーで使用できます。Gen10 Plus サーバーではサポートされていません。

## ディレクトリサービス認証

Microsoft Active Directory などのディレクトリサービスを統合して、ディレクトリユーザーに対して、Integrated Lights-Out プロセッサに割り当てられたユーザーロールを持つことを認可します。

## Discovery Service

サーバーの位置を HPE SIM および Insight Control に自動的にレポートします。Power Discovery Service は、iPDU テクノロジーの拡張機能です。iPDU の電源ステータスを自動的に報告します。

## Email ベースのアラート

ホストオペレーティングシステムから独立して検出された iLO アラート条件を、指定したメールアドレスに送信します。

対象：すべてのお客様

## 内蔵リモートサポート

HPE リモートサポート用のサーバーを登録できます。

対象：すべてのお客様

## 内蔵システムヘルス

システム管理ドライバーをロードせずに、ファン、温度センサー、電源装置センサー、および VRM を監視します。

これらのコンポーネントのステータスには、ホストオペレーティングシステムから独立して、すべての iLO インターフェイスからアクセスできます。また、管理プロセッサは、IPMI 指定のインターフェイスを介して、センサステータスをオペレーティングシステムにレポートします。iLO のインテリジェンス機能は、Sea of Sensors による温度制御の管理、動的消費電力上限テクノロジーの制御、およびサーバーコンポーネントの稼働状況の監視を行います。

対象：システムメンテナンスを行うすべてのお客様

## ファームウェア検証

ファームウェア検証のスケジュールされたスキャンまたはオンデマンドのスキャンを実行できます。問題が検出されたときに実行する回復アクションを構成できます。隔離されたファームウェアを表示、ダウンロード、削除することもできます。

## 統合リモートコンソールによるグローバルチームコラボレーション

リモートコンソール権限を持つ最大 6 人までの iLO ユーザーが、統合リモートコンソールを使って連携してリモートサーバーのトラブルシューティング、メンテナンス、および管理を行うことができます。

## iLO 連携検出

複数のシステムの連携グループ内の iLO のクエリを実行し、グループ全体から結果を返します。

対象：多数の Hewlett Packard Enterprise サーバーを備えた企業のお客様

## iLO 連携管理

iLO Web インターフェイスを実行している 1 つのシステムから複数のサーバーを管理できます。

対象：多数の Hewlett Packard Enterprise サーバーを備えた企業のお客様

## サーバーの UID ボタンを使用した iLO のリセット

UID ボタンを 5 秒間押しすと、サーバーを停止せずに iLO を手動でリセットできます。

対象：すべてのお客様

## iLO RESTful API

iLO には、Redfish API 準拠である iLO RESTful API が含まれています。iLO RESTful API は、基本的な HTTPS 操作 (GET、PUT、POST、DELETE、および PATCH) を iLO Web サーバーに送信することで、サーバー管理ツールからサーバーの構成、インベントリ、および監視を実行できる管理インターフェイスです。

RESTful インターフェイスツール (iLOREST) は、HPE サーバー管理タスクを自動化するためのスクリプティングツールです。これは、iLO RESTful API を利用する、簡素化されたコマンドのセットを提供します。ツールは、ご使用のコンピューターにインストールしてリモートで使用することも、Windows または Linux オペレーティングシステムを搭載するサーバーにローカルでインストールすることもできます。RESTful インターフェイスツールでは、自動化時間を短縮するための対話型モード、スクリプト可能なモード、および CONREP のようなファイルベースモードが提供されます。

対象：マルチベンダーのデータセンターを備えていて、それらを共通の方法で管理したい、かつ IPMI の脆弱性を好まないお客様。

## iLO の Web インターフェイス

標準の iLO ユーザーインターフェイスに、ライセンスされている機能の Web ベースの監視と管理を追加します。

対象：すべてのお客様

## 統合リモートコンソール

iLO リモートコンソールを使用すると、ホストサーバーのグラフィックディスプレイ、キーボード、およびマウスにリモートにアクセスできます。リモートコンソールを使用すると、リモートファイルシステムやネットワークドライブにアクセスできます。

リモートコンソールでアクセスすれば、サーバーが起動するときの POST メッセージを確認することができます。ROM ベースのセットアップアクティビティを開始してサーバーハードウェアを構成することができます。OS をリモートでインストールする場合、リモートコンソールにより (使用許諾されている場合)、インストールプロセス全体をホストサーバーのモニターに表示して、制御することができます。

対象：リモート管理を必要とするすべてのお客様。

## 統合リモートコンソールの録画および再生

起動、ASR イベント、および検出されたオペレーティングシステムの不具合のようなイベントのビデオストリームを記録し、再生します。コンソールビデオの録画を手動で開始および停止することもできます。統合リモートコンソールアプレットを使用して、保存された iLO ビデオファイルを表示できます。

対象：企業のお客様

## IPMI over LAN/DCMI

LAN または IPMI 仕様のデータセンター管理インターフェイス機能を使用して、プロセッサ、ファームウェア、および OS から独立してリモート接続を確立します。

対象：マルチベンダーのデータセンターを備えていて、それらを共通の方法で管理したいお客様。

## IPv6

IPv6 ネットワークのサポートを提供します。

## Jitter Smoothing

プロセッサの周波数変動 (ジッター) をならして調和させ、遅延時間を短縮します。

## Kerberos 認証

Kerberos のサポートにより、ユーザーは、ログインページの **Zero サインイン** ボタンをクリックして、iLO にログインすることができます。

システム管理者はユーザーサインオンの前に iLO とドメイン間の信頼関係を確立するため、(Two-Factor 認証を含む) 任意の形式の認証がサポートされます。

対象：企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

## キーマネージャーのサポート

キーマネージャーは、HPE の Smart アレイセキュア暗号化および UEFI 管理暗号化と一緒に使用できません。

キーマネージャーは、データ暗号化キーの生成、保存、操作、制御、アクセスの監査を行います。ビジネスに不可欠な機密性の高い保存データの暗号化キーへのアクセスを保護し、維持することができます。

## One-button セキュア消去

この機能は、サーバーを使用停止にしたり、別の使い方のために準備したりするために使用します。

One-button セキュア消去は、ユーザーデータのパージに対する NIST SP 800-88 Revision 1 のサニタイズに関する勧告を実装しており、サーバーおよびサポートされたコンポーネントをデフォルトの状態に戻します。この機能は、サーバーの揮発性に関する報告のドキュメントでユーザーが行う多くのタスクを自動化します。

## パフォーマンス監視

Innovation Engine のサポートによってサーバーでサポートされたセンサーから収集したパフォーマンスデータを表示します。収集したデータに基づいてアラートを構成できます。

## リモート Syslog

Syslog サーバーにイベント通知メッセージを送信します。

対象：セキュリティ情報およびイベント管理（SIEM）システムを備えるエンタープライズ向けのお客様

## RIBCL

サーバー管理用のリモート Insight ボードコマンド言語を提供します。

## スクリプト方式/URL ベースの仮想メディア

iLO 連携グループ内のサーバーからアクセスできるスクリプト方式のメディアに接続します。

## セキュリティダッシュボード

セキュリティダッシュボードページには、重要なセキュリティ機能のステータス、システム全体のセキュリティステータス、セキュリティ状態およびサーバー構成ロック機能の現在の構成が表示されます。ダッシュボードを使用して、構成の潜在的なリスクについて評価します。リスクが検知されたら、詳細情報とシステムセキュリティを向上させる方法についてのアドバイスを見ることができます。

## サーバー構成ロック

サーバー構成ロック機能は、管理者にデバイスの置き換えまたは追加、ハードウェアの取り外し、セキュアブートの変更、ファームウェアのインストールのような作業について警告します。この機能を UEFI システムユーティリティで構成したり、iLO RESTful API を使用して構成することができます。

## サーバーヘルスサマリー

iLO を使用すると、外部モニターにサーバーヘルスサマリーを表示できます。この機能は、サーバーが起動しないときのトラブルシューティングに役立ちます。これは、サーバーの IP アドレスやその他のヘルス情報を表示するためにも使用できます。

対象：すべてのお客様

## サーバーシステムの復元

別の管理ツールを起動してフルシステムリカバリを開始するリカバリイベントを、iLO を使用して生成することができます。

リカバリは、サーバーオペレーティングシステムのイメージの再構築に続き、システムリカバリセットのインストールを含めます。

## Silicon Root of Trust

Hewlett Packard Enterprise は、HPE Gen10 サーバー以降、ハードウェアに Silicon Root of Trust を組み込んだ初の業界標準サーバーを提供しています。Silicon Root of Trust は、既知の良好な状態を確保するため、下位レベルのファームウェアから BIOS やソフトウェアに至るまでの一連の信頼済みハンドシェイクを提供します。

## Smart アレイのセキュア暗号化

HPE Smart アレイコントローラーをサポートし、サーバーに直接接続した HDD または SSD ストレージに保存済みデータ暗号を提供します。この暗号化では、256 ビットの XTS-AES アルゴリズムを使用して、HDD や SSD ボリュームを暗号化する統合されたソリューションを提供します。

対象：企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

## SSH コマンドラインインターフェイス

セキュアシェル CLI による監視と管理を行います。

対象：リモート管理を必要とするすべてのお客様。

## テキストベースのリモートコンソール (Textcons)

Textcons では、サーバーの BIOS 経由での双方向のデータストリームの通信を実行できます。

対象：主に BIOS モードで Linux を使用しているハイパースケールなお客様

## SSH 経由でのテキストベースのリモートコンソール

SSH 暗号化によって保護された、カスタマイズ可能なテキストベースのリモートコンソールを提供します。

対象：ハイパースケールなお客様

## Two-Factor 認証 (Kerberos、スマートカード - PIV/Common Access Card)

Kerberos 認証または PIV/CAC スマートカード認証を構成することで、Two-Factor 認証を実装できます。

## サービスアクセス設定の更新

このアクセス設定を使用すると、ダウングレードポリシーを構成し、サードパーティのファームウェアアップデートパッケージを受け入れるかどうかを決定できます。

## リモートコンソール経由の仮想メディア

リモートコンソールを使用して仮想メディアを制御できます。

対象：リモート管理を必要とするすべてのお客様。

## 仮想電源ボタン

ホストの電源ボタンを遠隔操作します。

たとえば、ホストサーバーがオフの場合、電源を入れることができます。また、サーバーの電源を一度にオフオンすることもできます。OS に障害が発生しているサーバーの電源を切る際に、瞬間的に押す操作では不十分な場合に、「押し続ける」オプションを使用できます。

対象：リモート管理を必要とするすべてのお客様。

## 仮想シリアルポート

サーバーのシリアルポートによる双方向のデータフローを実現します。リモートコンソールを使用すると、リモートサーバーシリアルポート上に物理シリアル接続が存在するかのように操作できます。

対象：主に Linux ユーザーであるハイパースケールなお客様

## 仮想シリアルポートの録画および再生

仮想シリアルポートにより、サーバーのシリアルポートと双方向データフローが提供されます。リモートコンソールを使用すると、リモートサーバーシリアルポート上に物理シリアル接続が存在するかのように操作できます。

仮想シリアルポートはテキストベースのコンソールとして表示されますが、その情報はグラフィカルビデオデータを通じて描画されます。iLO では、サーバーがプレオペレーティングシステム状態であるときに、この情報が SSH クライアント経由で表示されます。この機能を使用すると、iLO 標準システムで POST 中のサーバーを監視および操作できます。

### **Workload Matching プロファイル**

事前構成されたワークロードプロファイルを選択することにより、サポートされているサーバーのリソースを調整できます。サーバーは、選択したワークロードに一致するように BIOS 設定を自動的に構成します。

### **ワークロードアドバイザー**

選択したサーバーのワークロード特性を表示できます。監視対象データに基づき、推奨のパフォーマンスチューニング設定を表示したり、構成したりできます。

### **ゾーンマッピング、ゾーンの優先度**

シャーシ全体でグループ化されるか、既存のユーザー定義ゾーンでグループ化されるように、各ノードを設定できます。

ゾーンを構成すると、各ゾーンのパワーレギュレーションの優先順位を設定できます。消費電力上限が設定されている場合、優先順位が高いゾーンには、優先順位が低い設定があるゾーンよりも多くの電力が割り当てられます。

# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/EIL>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

## 製品の Web サイト

iLO

<https://www.hpe.com/info/ilo>

iLO 5 Information Library

<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>

iLO サポート

<https://www.hpe.com/support/ilo5>

iLO の役立つリンクとリソース

<https://www.hpe.com/support/ilo-resource-ref-en>

iLO RESTful API および RESTful インターフェイスツール

<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>





# ライセンス、SAID、およびソフトウェアアップデートのサポート

## HPE iLO ライセンスのサポート連絡先のアドレス

サポートを受けるには、ライセンス購入の証明書を提示する必要があります。

**注記:** 引き換えた（アクティブ化された）ライセンスを交換することはできません。

- ・ 南北アメリカ：[licensing.ams@hpe.com](mailto:licensing.ams@hpe.com)
- ・ 欧州、中東、およびアフリカ：[licensing.emea@hpe.com](mailto:licensing.emea@hpe.com)
- ・ アジア太平洋地域および日本：[licensing.apj@hpe.com](mailto:licensing.apj@hpe.com)

## SAID と HPE パスポートアカウントのリンク

SAID は、サービス契約の利用権限に割り当てられた 12 桁の番号です。SAID は、Hewlett Packard Enterprise ハードウェアおよびソフトウェア製品に対する Hewlett Packard Enterprise テクニカルサポートおよびソフトウェアアップデートにアクセスする際に必要となります。

ライセンスを **My HPE Software Center** Web サイトに登録すると、お客様の SAID とその他の契約情報を記載した Welcome to Support レターまたは電子メールが送信されます。

SAID を受け取ったら、My HPE Software Center Web サイト (<http://www.hpe.com/downloads/software>) から直接アップデートにアクセスできるように、SAID を HPE パスポートアカウントにリンクすることができます。

### 手順

1. Hewlett Packard Enterprise サポートセンター (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) にアクセスします。
2. HPE パスポートアカウントでログインします。
3. 左側のナビゲーションメニューで、**契約および標準保証**をクリックします。
4. **サポート契約をリンク**をクリックし、画面の指示に従います。



# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

### My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

## 保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

